

令和7年度 維持管理の状況（その1）

◆処分した一般廃棄物（可燃ごみ）の数量 (t)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
処理量(焼却量)	1号炉	857.48	112.02	163.92	843.42									1,976.84
	2号炉	0.00	819.49	871.49	30.00									1,720.98
合 計		857.48	931.51	1,035.41	873.42									3,697.82

◆燃焼室中、集じん器に流入する燃焼ガスの温度（稼働日の連続測定による月平均） (℃)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
燃焼室中 燃焼ガス温度	1号炉	931	930	929	930									930
	2号炉	0	934	935	931									700
ろ過式集じん器流入 燃焼ガス温度	1号炉	160	160	160	160									160
	2号炉	0	160	160	160									120

- ※1 測定位置については別紙ごみ焼却施設フローシート参照
※2 燃焼室中の燃焼ガス温度の基準 800℃以上
※3 集じん器に流入する燃焼ガス温度の基準 200℃以下

◆排ガス中の一酸化炭素（CO）の濃度（稼働日の連続測定による月平均値） (ppm)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
排ガス中CO濃度	1号炉	5	7	16	15									11
	2号炉	0	18	19	18									14

- ※1 測定位置については別紙ごみ焼却施設フローシート参照
※2 排出ガス中の一酸化炭素濃度の基準 100ppm以下

令和7年度 維持管理の状況（その2）

◆冷却設備、排ガス処理設備に堆積したばいじんの除去を行った日

設備		1号炉			2号炉		
冷 却 設 備	ボイラ (ABボイラ間)	1回目	2回目	3回目	1回目	2回目	3回目
		R7. 5. 19			R7. 7. 22		
		4回目	5回目	6回目	4回目	5回目	6回目
	ボイラ (チューブ)	1回目	2回目	3回目	1回目	2回目	3回目
		R7. 5. 19			R7. 7. 22		
		4回目	5回目	6回目	4回目	5回目	6回目
	白煙防止用 空気予熱器	1回目	2回目	3回目	1回目	2回目	3回目
		R7. 5. 19			R7. 7. 22		
		4回目	5回目	6回目	4回目	5回目	6回目
	減温塔	1回目	2回目	3回目	1回目	2回目	3回目
		R7. 5. 22			R7. 4. 9	R7. 7. 23	
		4回目	5回目	6回目	4回目	5回目	6回目
排ガス処理設備	ろ過式集じん器	1回目	2回目	3回目	1回目	2回目	3回目
		R7. 6. 11			R7. 4. 9	R7. 7. 15	
		4回目	5回目	6回目	4回目	5回目	6回目

令和7年度 維持管理の状況（その3）

◆排ガス中のダイオキシン類の濃度

	法規制値	単位	1号炉	2号炉
排ガスを採取した年月日				令和7年5月8日
結果が得られた年月日				令和7年5月28日
ダイオキシン類濃度	5	ng-TEQ/m ³ N		0.0055

◆ばい煙量又はばい煙濃度（硫黄酸化物（SOx）、ばいじん、塩化水素（HCl）、窒素酸化物（NOx）、全水銀）

		法規制値	単位	1号炉		2号炉	
				1回目	2回目	1回目	2回目
排ガスを採取した年月日						令和7年5月8日	
結果が得られた年月日						令和7年5月17日	
硫黄酸化物(SOx)	排出量		m ³ N/h			0.003未満	
	K値	17.5				0.01未満	
ばいじん排出量		0.15	g/m ³ N			0.001未満	
塩化水素(HCl)排出量		700	mg/m ³ N			1.6未満	
窒素酸化物(NOx)排出量		250	ppm			33	
全水銀排出量		50	μg/m ³			1.3	

※1 ばいじん、塩化水素（HCl）、窒素酸化物（NOx）、全水銀については「標準酸素12%換算値」
※2 測定時の酸素濃度により定量下限値に変動があります。
※3 未満と表示されている数値は定量下限値を示します。ただし全水銀排出量については検出下限値未満であることを示し、（ ）内の数値は検出下限値以上、定量下限値未満であることを示します。
※4 測定位置については別紙ごみ焼却施設フローシート参照